

# 2024年度研修会計画

## 第1回生涯研修会 (和歌山県歯科医師会館・WEB)

日時 2024年6月23日(日)10:00~12:00  
演題 「歯科衛生士が知っておきたいライフステージに応じた栄養管理」  
講師 伊藤 智子 先生(公益社団法人 和歌山県栄養士会)

## 第2回生涯研修会 (和歌山県歯科医師会館・WEB)

日時 2024年8月18日(日)13:00~15:00  
演題 「令和の子育て子育て」~歯科保健指導も日々進化しています!時代遅れにならない様にブラッシュアップしましょう!~  
講師 宮坂 乙美 先生  
(中村キッズデンタルパーク歯科衛生士・NDLミントセミナー講師)

## 第3回生涯研修会 創立50周年記念 県民公開講座 (ダイワロイネットホテル和歌山)

日時 2024年9月1日(日)10:00~11:30  
演題 「防災と口の健康」~防ごう!災害関連死~  
講師 足立了平 先生  
(医療法人社団とさわ病院歯科・歯科口腔外科 神戸市健康局歯科専門役)

## 病院歯科衛生士研修会 (会場未定・WEB)

日時 2025年1月19日(日)10:00~12:30  
演題 「褥瘡予防について」(仮題)  
講師 北出 貴則 先生(誠佑記念病院 理学療法士)

## 口腔機能管理研究会 アドバンスコース

①2024年7月20日(土)15:00~18:00  
(和歌山城ホール・WEB・オンデマンド)  
演題①「薬から全身を見てみよう」~DHからみた薬と疾患、全身との関わり~ 麻生 万裕美 先生  
演題②「治療で注意すべき薬剤と臨床で見る薬剤と口腔内について」 吉田 俊香 先生  
演題③「歯科衛生士が知っておきたい介護報酬改定のポイント」 加藤 恭子 先生

②2024年10月20日(日)10:00~12:00  
(会場未定・WEB・オンデマンド)  
演題 「新しい生活様式における機能的口腔ケアの継続的な実施とは」 野村 カオル 先生

## 口腔機能管理研究会 マスターコース

2025年2月16日(日)10:00~12:00(会場未定・WEB・オンデマンド)  
演題 「医療的ケアとは~口腔内の喀痰吸引~」 小室 恵子 先生、野村 カオル 先生

## 診療所歯科衛生士研究会 勉強会

①2024年7月20日(土)15:00~18:00  
(和歌山城ホール・WEB・オンデマンド)  
演題①「薬から全身を見てみよう」~DHからみた薬と疾患、全身との関わり~ 麻生 万裕美 先生  
演題②「治療で注意すべき薬剤と臨床で見る薬剤と口腔内について」 吉田 俊香 先生  
演題③「歯科衛生士が知っておきたい介護報酬改定のポイント」 加藤 恭子 先生

②2024年11月16日(土)15:00~17:00  
(会場未定・WEB・オンデマンド)  
演題 「スペシャルニーズのある子どもたちへの歯科医療について」 山東 理沙 先生

③2024年12月15日(日)10:00~12:00  
(会場未定・WEB・オンデマンド)  
演題 「歯科衛生士が見る粘膜疾患」(仮題) 吉田 俊香 先生

県民公開講座には  
職場スタッフやご家族の皆様と  
是非ご参加ください



# 研究会・学術大会のお知らせ

## 関西障害者歯科臨床研究会 第16回研究集会

テーマ 「スペシャルニーズのある人々との関わり」  
日時 2024年7月21日(日)10:00~16:40  
場所 京都府歯科医師会館2階講堂  
主催 関西障害者歯科臨床研究会(会長 有田 憲司)  
協賛 (公社)日本障害者歯科学会  
協力 (一社)京都府歯科医師会, (公社)京都府歯科衛生士会  
参加費 歯科医師・医師2,000円, 歯科衛生士・その他1,000円  
(現地支払い)



和歌山県歯科衛生士会  
創立50周年記念事業  
日時:2024年9月1日(日)

10:00~11:30 記念講演  
「防災と口の健康」  
~防ごう!災害関連死~  
12:00~14:30 記念式典・祝賀会  
※写真はイメージです

場所:ダイワロイネットホテル和歌山(和歌山市七番丁26-1)

ゲスト紹介  
記念講演 講師 足立了平先生  
スペシャルゲスト 口腔戦士デンタマン  
記念事業に関する詳細は追って連絡いたします

問い合わせ先  
和歌山県歯科衛生士会  
30周年記念事業実行委員会  
〒640-8287 和歌山市築港1丁目4-7 和歌山県歯科医師会館内  
TEL.073-499-8297 https://wakayama.dhs.or.jp/

ライフコースを通じた  
健口文化の醸成  
2024年  
9月21日(土)~23日(日)  
朱鷺メッセ  
新潟コンベンションセンター  
日本歯科衛生学会 第19回学術大会



# 和歯衛だより

発行/一般社団法人和歌山県歯科衛生士会  
広報 山東理沙  
事務局 〒640-8287  
和歌山市築港1丁目4の7  
電話073-499-8297

## 求められる歯科衛生士になろう

以前受けた研修会で「歯科衛生士はもっと職種をアピールしないと!一般人の歯科衛生士のイメージは歯科医師の隣でツバを吸ってる人になってしまうよ。」と。  
近年、歯科衛生士は、診療所の仕事だけではなく、訪問しての口腔健康管理、地域包括ケアシステムでの他職種連携など、活躍の場が広がっています。  
現場では、1年から4年の教育を受けた歯科衛生士が存在しています。4年制の養成校で学ぶ内容は、明らかに増加し、疾病に対する考え方も変化し、治療や予防の方法も変化してきています。  
求められる歯科衛生士となるための1つめは、その時代にあった歯科衛生士になるため、『継続した学び』が必須だということです。また、どの職種も何かの分野に特化した専門性を持つことが求められてきています。2つめは『認定を取得して専門性を持つ』ことです。そして、3つめは『コミュニケーション力をつける』ことです。患者さんとだけでなく、歯科医師と一緒に働くスタッフとも円滑なコミュニケーションができれば、雰囲気の良い環境が生まれます。  
3つとも簡単にできることではないですが、求められる歯科衛生士に近づけるよう私も努力していきたいと思います! 会長 山下千穂

## 2023年度 人形劇団活動報告 (歯科健康教育)



○2023年12月2日(土)周参見町『すさみこども食堂』  
○2023年12月8日(金)紀美野町『キノコ食堂』  
○2024年2月17日(土)有田町『にじいろこども食堂』  
2022年度・2023年度の2年間、日本歯科衛生士会の助成金を受け、県内のこども食堂における歯科健康教育の需要調査やこども食堂での活動を行ってきました。  
活動内容は、日常生活で簡単にできる「ぶくぶくうがい」を主に、口腔機能アップ方法について、お口の動きや唾液の動きについての講話と、実際に細長いお菓子を食べてもらい、食育と絡めて「食べること」体験してもらいました。  
また、フーセンガムを使い、大人も子供もスタッフも全員で噛んで、フーセンを膨らませるまでの舌の動かし方などの話を混じえながら噛む事、飲み込みの大切さをお話しました。  
今後も継続してこども食堂での活動を行っていきたく考えています。



## 2023年度 会員交流会報告



2024年2月18日(日)会員交流会を開催しました。  
2020年以来4年振りの開催になりました。  
山下会長の挨拶から始まり、参加者全員の自己紹介、ビンゴゲームを行いました!  
飲食しながら、久しぶりの交流に大変盛り上がりました。皆さまと、楽しいひと時を過ごせて本当に楽しかったです。  
また年度末に交流会を開催したいと思っています。予定が決まり次第お知らせをさせていただきますので、ご都合が合えば是非ご参加ください!



## 2024年度パソコン演習報告

○紀南会場 4/7(日) 和歌山県立情報交流センターBig.U 4名受講  
○紀北会場 4/20(土)・4/21(日)和歌山県歯科医師会館 5名受講  
この事業は、会員さんの「パワーポイント操作を学びたい」という言葉をきっかけに、2022年度から始まりました。パソコンの基礎を学びたい、便利な機能を知りたい、指導媒体を作りたい、ZOOM操作を学びたい等々の要望に対応させていただいています。  
和気あいあいと楽しく、また熱心に受講していただきました。  
受講後の感想では  
・パソコン演習は、情報交換の場としても楽しみの一つです。  
・必要なスキルをピンポイントで教えてもらえるのがとてもありがたい。  
・少人数制なので質問しやすい。応用した使い方を学べて勉強になりました。  
・作成したスライドの評価はアドバイスをもらえて励みになりました。楽しかったです。  
等のご意見をいただきました。また来年度も企画・開催したいと思います。



# ～わたしの座右の銘,好きなことばを集めました～

麻生 万裕美：患者さんファースト

田中 旬子：反省はしても後悔はしない。仕事には楽しんで続けるのが鉄則である。どんな仕事も天職になる。

稲垣 厚子  
雲外蒼天（どんな試練でも努力して乗り越えれば快い青空が望める）

知念 真生子：善因善果

岩橋 真弓：初心を忘れないこと

辻 六未：念ずれば花開く

岩室 紘子：塞扇が馬  
学生時代長期入院した時に、実習で担当になった医療学生さんから教えてもらった言葉です。何度もこの言葉で前向きになりました。こんな臨床現場にいない歯科衛生士もいていいんじゃない？そんな気持ちにさせてくれました。

峠 利枝子：初心わすれるべからず

太田 仁美：努力

中岡 育子：敵は己の中にあり

岡 理恵子：継続は力なり

中田 律子：一期一会です。会での機会、出会い、また患者さんとの出会いを大切にいつも感謝しているからです。

沖井 泉穂：桜梅桃李

中西 美保：感謝 自分は周りの人に支えられているといつも感謝の気持ちを持っています。

奥野 房代：自然体

中野 智子：知足安分（たるをしりぶんにやすんず）高望みをせず、自分の境遇に満足して、程々に生きていこうと思っています。

加藤 恭子：明けない夜はない

西村 愉美：ケセラセラ 変に心配性で、ネガティブに考えてしまう性格なのでケセラセラと自分に言い聞かせます。

神屋敷 久美：「ありがとう」です。人に何かした後、自分が言われて笑顔になれるのは「すみません」より「ありがとう」だから。

野村 カオル：温故知新 昔の事を知り、理解して現段階の自分の置かれている状況下に吟味し落とし込むこと。

北野 美恵子：健康な体に健全な魂が宿る 今できることは今やる

花田 浩美：大丈夫だ、心配するな、なんとかなる

九鬼 州子：一期一会

濱松 友里：努力すれば報われる

栗山 純子：一期一会

小園 歩：有言実行

林 糸津香：初心忘れるべからず（慣れた事でも慎重に！と常に頭の片隅に置いています）

小畑直子：悔いなくありのままの自分で生きる

平松 有美子：笑う門には福来る

小畑 美千：千里の道も一歩から

藤井 佳奈：感謝

小室恵子：念ずれば花開く、経験は学問に勝る

宮本 綾子：七転八倒（何回失敗しても、くじけず立ち上がって努力する）

小山 明江：後悔しないよう、やりたい事して、めいっぱい楽しんで生きる

森下 麻希：因果応報

坂本 佐知子：笑顔は人生を変える

山下 千穂：人の気持ちがわかる人間でいたい

佐原 果歩：日進月歩

吉田 俊香：明日できることは明日にする（ひとつ考えて行動しよう心がけています）

武田 幹子：成せばなる  
現在、歯科衛生士とは関わりのない仕事をしていますが、根底に歯科衛生士という資格があったから資格取得ができました。努力したら報われるように思います。

中野 恵子：努力は裏切らない 患者さんが言いたいことを聞いてあげる努力をすることで、コミュニケーションが取れ、患者さんから手を挙げて、挨拶してくれることが嬉しい。

田村由希子：実るほどこうべを垂れる稲穂かな

森田 桜：置かれた場所で咲きなさい

西濱 充：乗り越えられない試練はないね（には楽しんで続けるのが鉄則である。どんな仕事も天職になる。）

米田 幸子：謙虚と感謝

瓦間 由美：「辞める理由を探すな 続ける理由を探せ」いいなと思っていましたが、今はもっと気楽に「知らぬが仏」

北村 直子：CureとCareの違い、Healの気持ちを忘れない！

得津 康子：雲の向こうはいつも青空

西谷 敬子：「冬来たりなば春遠からじ」イギリスの詩人シェリーの言葉を上田和夫さんが訳されました。この言葉に出会ったのは私の人生で1番落ち込んでいる時でした。「前向きに生きなさい」と言われた気になりました。

水崎 圭子：大切なものは眼に見えない

阿瀬 佳世：一期一会

清水 里香：一瞬一瞬を噛みしめて 自分を大切に 今を生きていく

前西 光聖：口にいつもありがとう 心に思いやりのやさしさあり

石田 光代：一期一会

竹中 幸：ケ・セラ・セラ（なるようになる）面倒くさい事ほど大事。言い聞かせて日々乗り越えています。

出水 夏恵：座右の銘というものではないですが、ポジティブシンキングをモットーに生きる感じです。何事も前向きに進むのが私のポリシーといえますか・・・

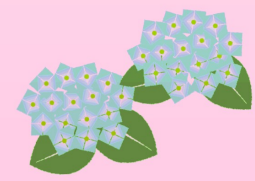
成川 由美：笑みながら漏れる白い歯

宮井 鈴香：感謝

森 佳子：気は長く心は丸く腹立てず口慎めば命ながかれ

森川 千尋：人間万事塞扇が馬

森川 喜子：和敬清寂。和やかに打ちつけて、互いを敬い尊敬し合うよう、心掛けようと思っています。



後垣内 恵子：日頃気をつけていることは私生活ではよくよ悩まないようにしています。自分にトラブルが起きた時、良くない結果になってしまったとしても受け入れて前に進むことを考えます。好きな言葉は「ありがとう」全てに感謝です。

荒井 洋子：人にできて 自分にできない事は努力とチャレンジの気持ちを大切にすることによって乗り越えられる。良い結果になってしまったとしても受け入れて前に進むことを考えます。好きな言葉は「ありがとう」全てに感謝です。

長野 敬子：自分がどんなにたくさんの人やものに支えられて生きているか。ありがたいと思うその感激がさらに幸せを呼ぶ。

恵中 恵子：自分以外全てが我が師

阿部 洋美：無欲は怠惰の基である

北河 寛子：試行錯誤

嶋本 万季：継続は力なり

津村 瑞希：何事にもチャレンジ！

山崎 留美：笑う門には福来る 泣くも人生、笑うも人生、どう過ごすかは自分次第

東 由香里：継続は力なり

## 私の50年の歩 畠中幸代さん

1974年7月21日 発足祝賀会



和歌山県歯科衛生士会創立50周年おめでとうございます。  
私は和歌山県歯科衛生士学院の2期生です。和歌山県第84号が私の最初の免許証でした。1978年に結婚し、姓が変わり和歌山県第325号になりました。  
岡野歯科医院（岡野和子先生）に勤務し、10年間診療所の歯科衛生士としてお世話になりました。  
歯科衛生士会が和歌山県に存在せず、大阪府歯科衛生士会西岡先生の指導の下に、1期生から4期生100名の中から17名が参加して、1974年、和歌山県歯科衛生士会は日本で42番目に発足することができました。和歌山市歯科医師会からの歯科衛生週間行事の参加依頼により、人形劇をし、歯磨き指導を引き受けました。また、休日急患センターの出務依頼で勤務させていただきました。会員一同はスクラムを組んで頑張り、レクリエーションで白浜へ出かけ、親睦を深めました。  
和歌山県歯科衛生士学校が2年制になるにあたり、教員として採用され、新任研修で名古屋の高山先生と出会い、岩手の先生と尼崎の先生と仲良くなり、専任研修も共に受けました。  
和歌山県歯科衛生士学校の修学旅行（北海道）の思い出や、国家試験の付添いでは忘れられないことがひとつ。  
1995年阪神・淡路大震災の発災間もない3月、兵庫県の専任教員の方々の目が真っ赤だったことです。学生さんひとりが亡くなり、国家試験に向けて必死に頑張られていたことが分かりました。18年間和歌山県歯科衛生士学校の学生教育に携われたことは、私にとって素晴らしい経験でした。  
母の介護のため学校を離れ、介護しながら貴志川町の幼児の保健指導業務を引き受け、こどもとお母さんのお話を聞きながら、問題点について指導しました。23年間、70歳まで担当させていただき、後輩が引き継いでくれました。  
私がこの職業を選んで良かったことは、私と私の家族が歯の健康に気をつけてくれたことと、たくさんの人々との繋がりを得た事です。今は、こどもたちに絵本を読んであげることを楽しみにしています。  
私の50年の歩でした。皆さんも健康に気をつけてますますご健勝ください。

上垣 奈波さん  
診療所に勤務している上垣奈波と申します。他の医院の歯科衛生士さんとの交流が欲しいと思っていた時に、お友達から紹介して頂き、入会することにしました。歯科衛生士会での活動に積極的に参加して知識や経験を増やし、今よりも成長していきたいと思っています。よろしくお願いします。

森木 佑貴子さん  
歯科衛生士会での活動や勉強会を通して歯科衛生士としての知識や経験値を増やしていきたいと思っています。よろしく願い致します。

林 水生妃さん  
現在3人の子育て中ですが、空いている時間に色々な事業に参加したり、勉強したいと思い入会させていただきました。どうぞよろしくお願い致します。

郷 理加さん  
本年度より和歌山県歯科衛生士会に入会させていただきました。郷りかです。私は、出身地の京都歯科医療技術専門学校を卒業し歯科衛生士になり26年になります。和歌山に来て今年で13年目がスタートしていますので、歯科衛生士として京都と和歌山で半分ずつ過ごしたことになります。現在は、和歌山市内で夫とともに歯科医院を開業しており、私も毎日臨床業務を行っています。今後も楽しく学びを深めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

